

赤外線通信機能付電力量計用
誤結線検出アプリケーション

取扱説明書

はじめに

「赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション」（以下、本アプリ）は、電力量計から取得できる項目を利用して、引き渡し書類やデータファイルの作成、また電力量計が正しく配線されているかの確認を行うためのツールです。

本書は、本アプリを正しくご使用いただくために、操作方法や注意事項などについて説明しています。

説明内容などでご不明な点がございましたら、必ず弊社までお問い合わせください。

目次

はじめに	1
目次	2
アプリの概要とシステム構成	3
アプリの概要	3
■ 動作環境	3
■ 機能一覧	3
■ 対象計器一覧	3
システム構成	4
■ 誤結線検出アプリケーション	4
■ 赤外線通信機 (TP-BT)	4
■ 配線チェック機	4
■ 電力量計	4
セットアップについて	6
■ 本アプリのインストール	6
■ PC と TP-BT のペアリング (Windows 10 の場合)	10
■ PC と TP-BT のペアリング (Windows 11 の場合)	13
画面説明	19
1. データファイル作成・選択画面	20
2. 計器情報取得画面	21
3. 誤結線確認画面	27
4. 計量値確認画面	33

アプリの概要とシステム構成

アプリの概要

■ 動作環境

本アプリは以下の環境で動作します。

- ・ Windows10/11 OS 搭載の端末

(※本アプリ実行に必要な Java は ZIP ファイル内に同梱されています。)

本アプリの実行方法は後述の“セットアップについて”をご参照ください。)

- ・ Bluetooth(SPP ペ어링) 通信に対応している端末

■ 機能一覧

本アプリの機能一覧を以下に示します。

機能	説明
データファイル作成・選択	本アプリにて情報を転記するエクセルファイルを新規作成、もしくは既存のエクセルファイルを対象として指定します。
計器情報取得	計器から設定値/現在値の情報を取得し、画面に表示します。また、その情報をエクセルファイルに転記します。
誤結線確認	計器が正しく配線されているかの確認を行います。また、その結果をエクセルファイルに転記します。
計量値確認	計器が正しく計量できるかの確認を行います。また、その結果をエクセルファイルに転記します。

■ 対象計器一覧

本アプリに対応している赤外線通信機能付計器と、利用可能な機能を以下に示します。

計器	データファイル作成・選択	計器情報取得	誤結線確認	計量値確認
コンパクト EM シリーズ	○	○	○ (※1)	○
埋込型計器	○	○	—	○ (※2)
E-FM シリーズ	○	○	—	○

※1：VT 付き計器は対象外

※2：無効計器は対象外

システム構成

■ 誤結線検出アプリケーション

- ・本アプリを指し、Windows PC 上で動作します。

■ 赤外線通信機 (TP-BT)

- ・本アプリを実行する PC と Bluetooth (SPP ペアリング) 通信で接続します。
- ・TP-BT と計器は赤外線通信で通信を行います。
- ・使用方法については該当製品のマニュアルを参照してください。

■ 配線チェック機

- ・誤結線判定機能にて使用する模擬負荷となります。

■ 電力量計

本アプリの対象となる計器一覧を以下に示します。

シリーズ	型名
コンパクト EM シリーズ	<ul style="list-style-type: none">・ 単相 2 線式： A1GA-RLS31, A1GA-TLN2r, A1GA-TLN2, A1GA-TLN1r, A1GA-TLN1, A1GA-TLN11r, A1GA-TLN11・ 単相 3 線式： A2GA-RLS31, A2GA-TLN2r, A2GA-TLN2, A2GA-TLN1r, A2GA-TLN1, A2GA-TLN11r, A2GA-TLN11・ 三相 3 線式： A3GA-RLS31, A3GA-TLN2r, A3GA-TLN2, A3GA-TLN1r, A3GA-TLN1, A3GA-TLN11r, A3GA-TLN11, AP3GA-TLN1r, AP3GA-TLN1, AP3GA-TLN11r, AP3GA-TLN11
埋込型計器	<ul style="list-style-type: none">・ 単相 2 線式： A1D-RLS27V, A1D-RLN2SV・ 単相 3 線式： A2D-RLS27V, A2D-RLN2SV・ 三相 3 線式： HP3D-RLS28V, HV3D-RLS28V, A3D-RLS27V, AP3D-RLS27V, AP3FD-RLS27V, A3D-RLN2SV, AP3D-RLN2SV・ 三相 4 線式： A4D-RLS27V, A4D-RLN2SV
E-FM シリーズ	<ul style="list-style-type: none">・ 三相 4 線式： A8JA-RL, A8JA-RLS31, A8JA-RLN2

■ 構成図

誤結線検出アプリケーション



Bluetooth
SPP通信
ペアリング



赤外線通信



配線チェック機



セットアップについて

■ 本アプリのインストール

- ① 弊社公式ホームページからソフトウェアをダウンロードします。
トップページより「製品・サービス情報」から「各種ダウンロード」をクリックします。
URL : <https://www.osaki.co.jp/>



- ② 「ソフトウェア」より「赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション」をクリックします。



- ③ 利用規約の同意欄にチェックを入れ、申込フォームを記入し「確認」をクリックします。
※16 製品 ID は赤外線通信機器正面に記載されている内容をご入力ください。
(例：“EDMI00000” EDMI と番号の間のスペースは不要です。)

ソフトウェアダウンロード お申し込み

利用規約の記載内容を必ずお読みいただき、同意の上でフォームのご記入をお願いします。

利用規約

アプリケーション利用規約

このアプリケーション利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、大崎電気工業株式会社（以下、「当社」といいます。）または当社が提携もしくは委託した会社が提供するPC向けのアプリケーション（以下、「本アプリケーション」といいます。）およびその他これに関連するサービス（以下、総称して「本サービス」といいます。）の利用条件、本サービス利用上の諸注意事項、その他必要な事項を

利用規約に同意します

1 郵便番号 <必須> ※ハイフンなしの半角数字7桁で入力してください。

2 都道府県 <必須> <未選択> ▼

3 市区町村 <必須>

15 製品名 <必須> ※半角英数で入力してください。

16 製品ID <必須> ※半角英数で入力してください。

確認

- ④ 入力内容をご確認の上、送信ボタンをクリックします。
- ⑤ 入力フォームへご登録のメールアドレス宛にダウンロードページの URL をお送りいたしますのでメールをご確認ください。

⑥ ダウンロード用 URL よりファイルダウンロードをクリックします。

赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション ダウンロード

「赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション」は、電力量計から取得できる項目を利用して、引き渡し書類やデータファイルの作成、また電力量計が正しく配線されているかの確認を行うためのツールです。

ご留意事項

ご利用の際には最新のカatalog、取扱説明書をお読みください。ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせください。

赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション 取扱説明書ダウンロード

更新日	2023/1/14
対象ユーザー	赤外線通信機能付き電力量計のユーザー様
ファイル	赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション 取扱説明書 (1.1MB)

赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション ダウンロード

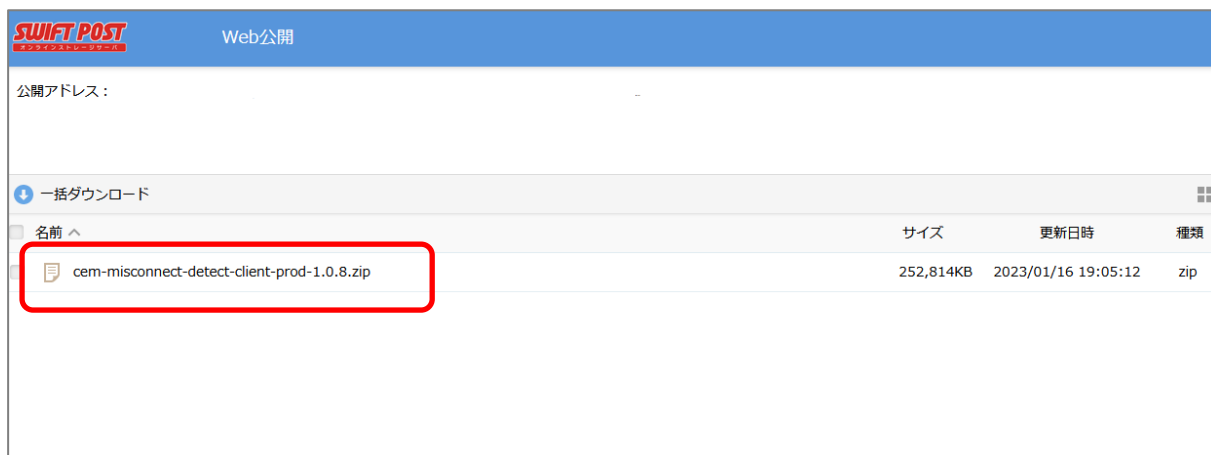
更新日	2023/1/14
バージョン情報	ver.1.0.0
対象ユーザー	赤外線通信機能付き電力量計のユーザー様
ファイル	赤外線通信機能付電力量計用 誤結線検出アプリケーション (1.1MB)

⑦ メールに記載されたパスワードを入力してログインします。



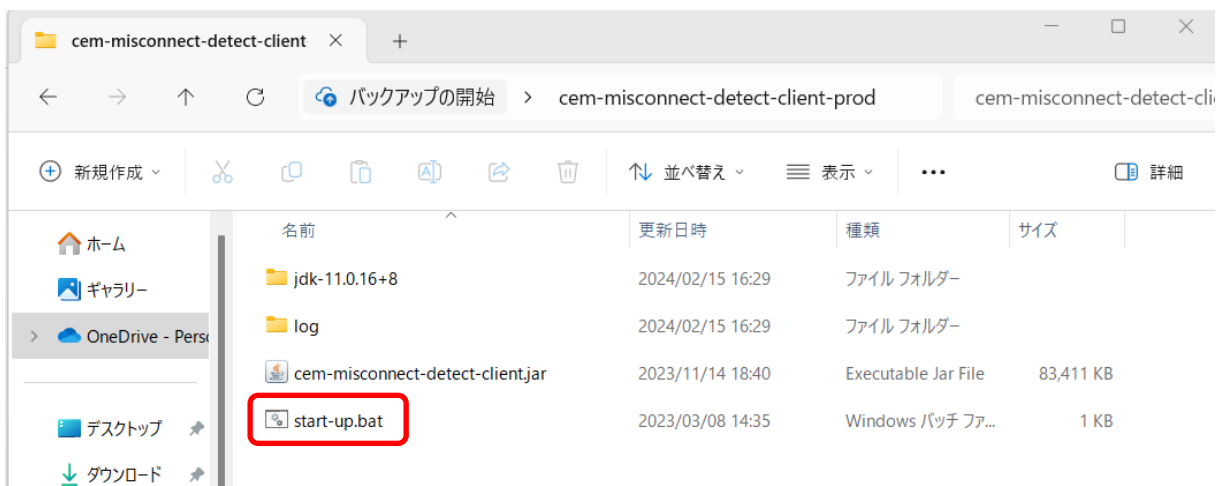
The image shows a login page for SwiftPOST Online Storage Server. The page has a light blue background. At the top, the logo "SWIFT POST" is displayed in red, with "オンラインストレージサーバ" (Online Storage Server) written below it in white on a red background. Below the logo, the word "ログイン" (Login) is centered. A horizontal line separates the header from the login form. The form contains a password input field with a red border and a blue button labeled "ログイン" (Login). The text "パスワード" (Password) is visible inside the input field. The SwiftPOST logo is also present in the bottom right corner of the page.

⑧ ダウンロードファイルを選択するとダウンロードを開始します。



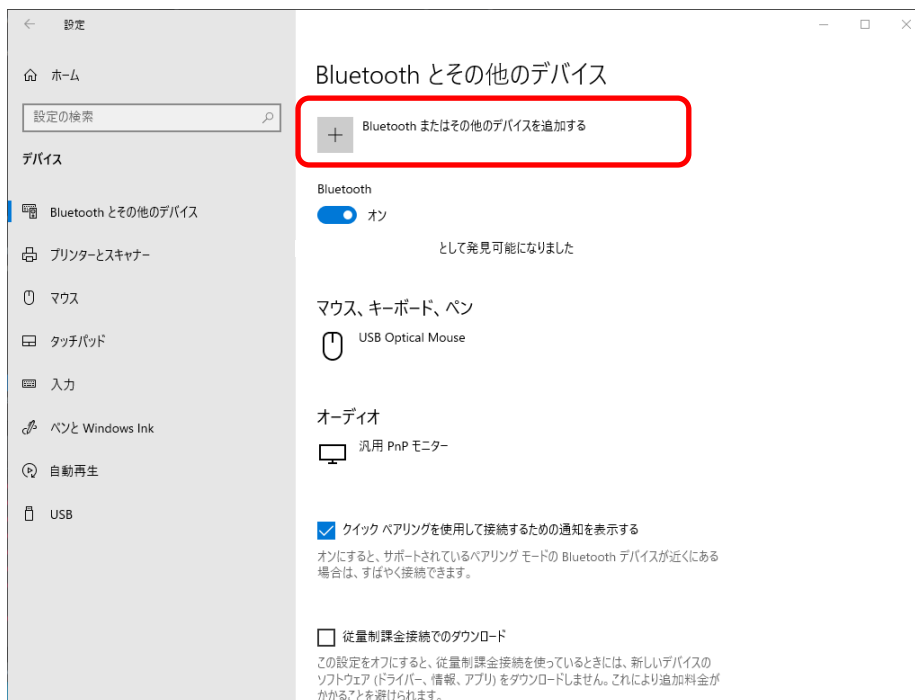
⑨ ダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。

⑩ 解凍したフォルダ内の「start-up.bat」を実行することで、本アプリが起動します。
※本アプリのご利用には、PC と TP-BT（赤外線通信機）のペアリングが必要です。
（ペアリング方法については次項の” PC と TP-BT のペアリング” をご参照ください。）

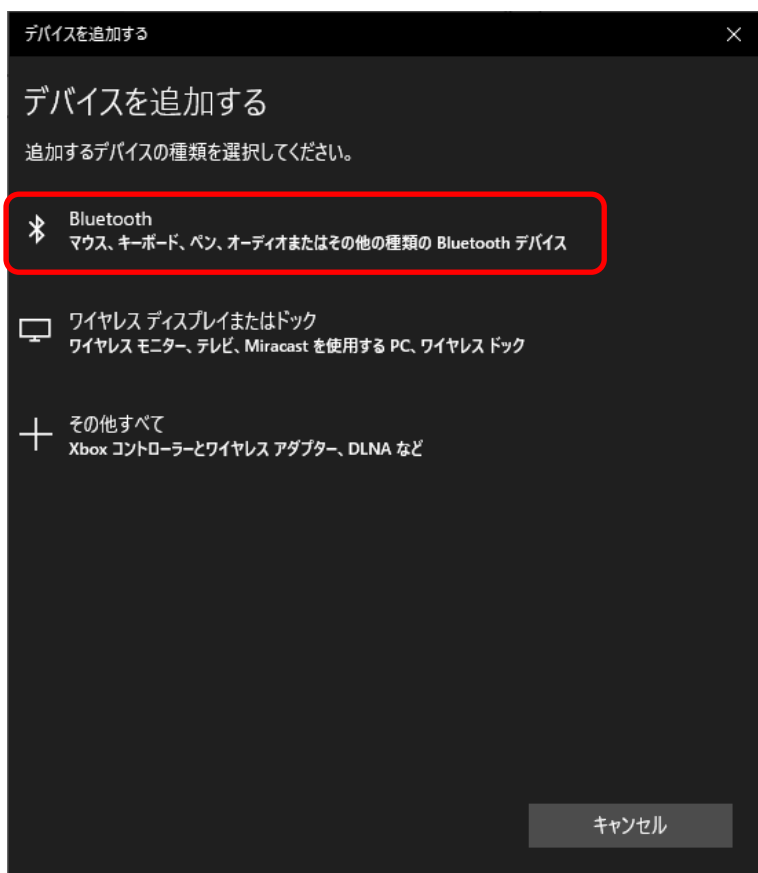


■ PC と TP-BT のペアリング (Windows 10 の場合)

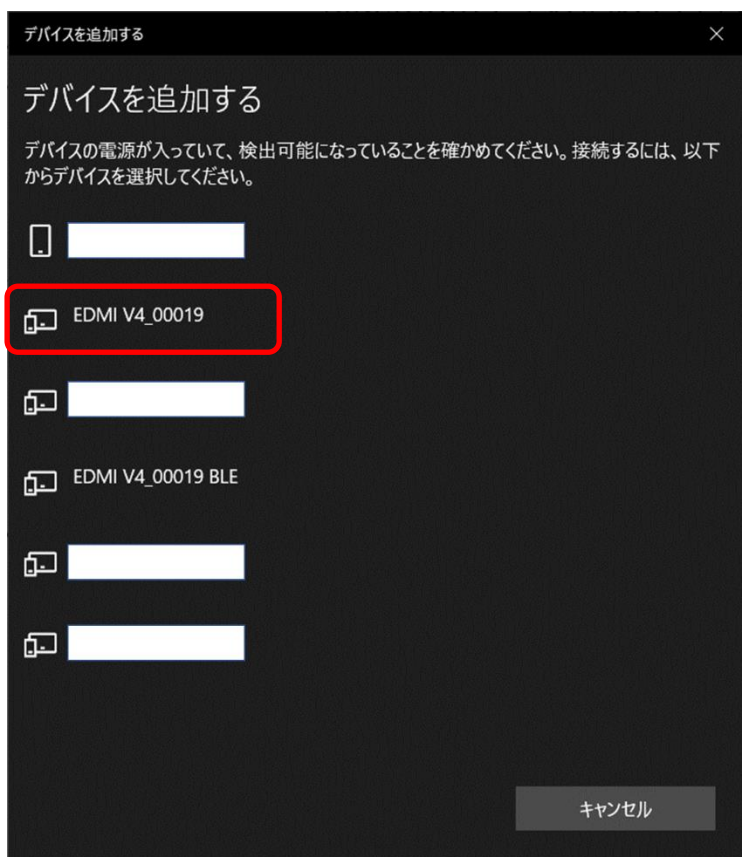
① 「Bluetooth とその他のデバイス」 から 「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」 をクリックします。



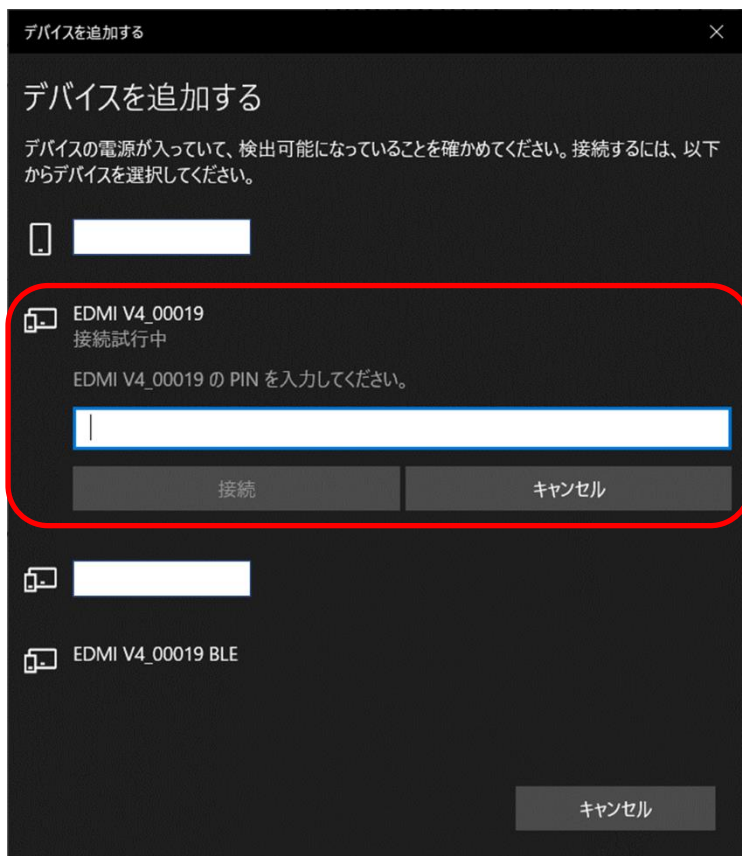
② 「デバイスを追加する」 から 「Bluetooth」 を選択します。



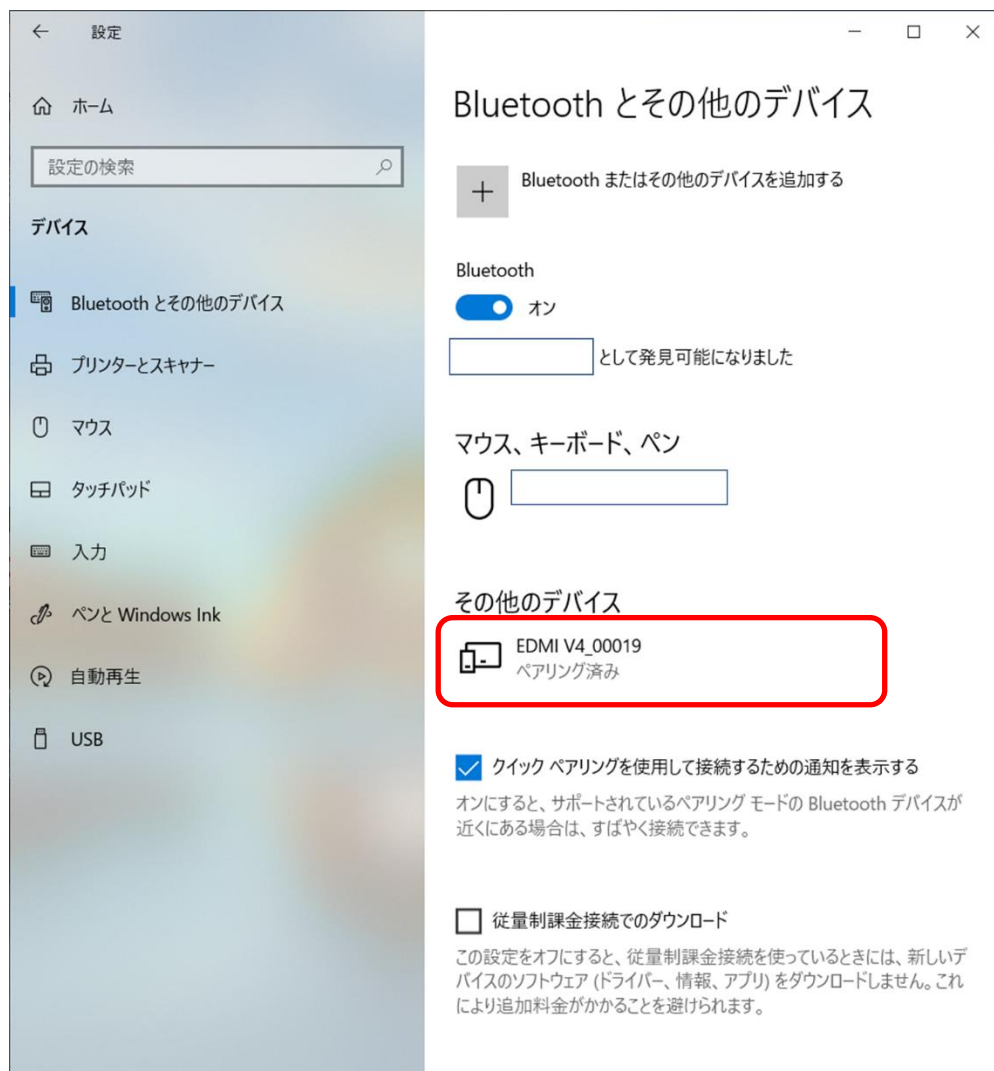
- ③ 対象の TP-BT を選択します。(BLE が付かない方の名称を選択)
デバイス名：“EDMI VX_YYYYY” (“X”，“YYYYY” は任意の数字)



- ④ PIN「1234」を入力して「接続」をクリックします。

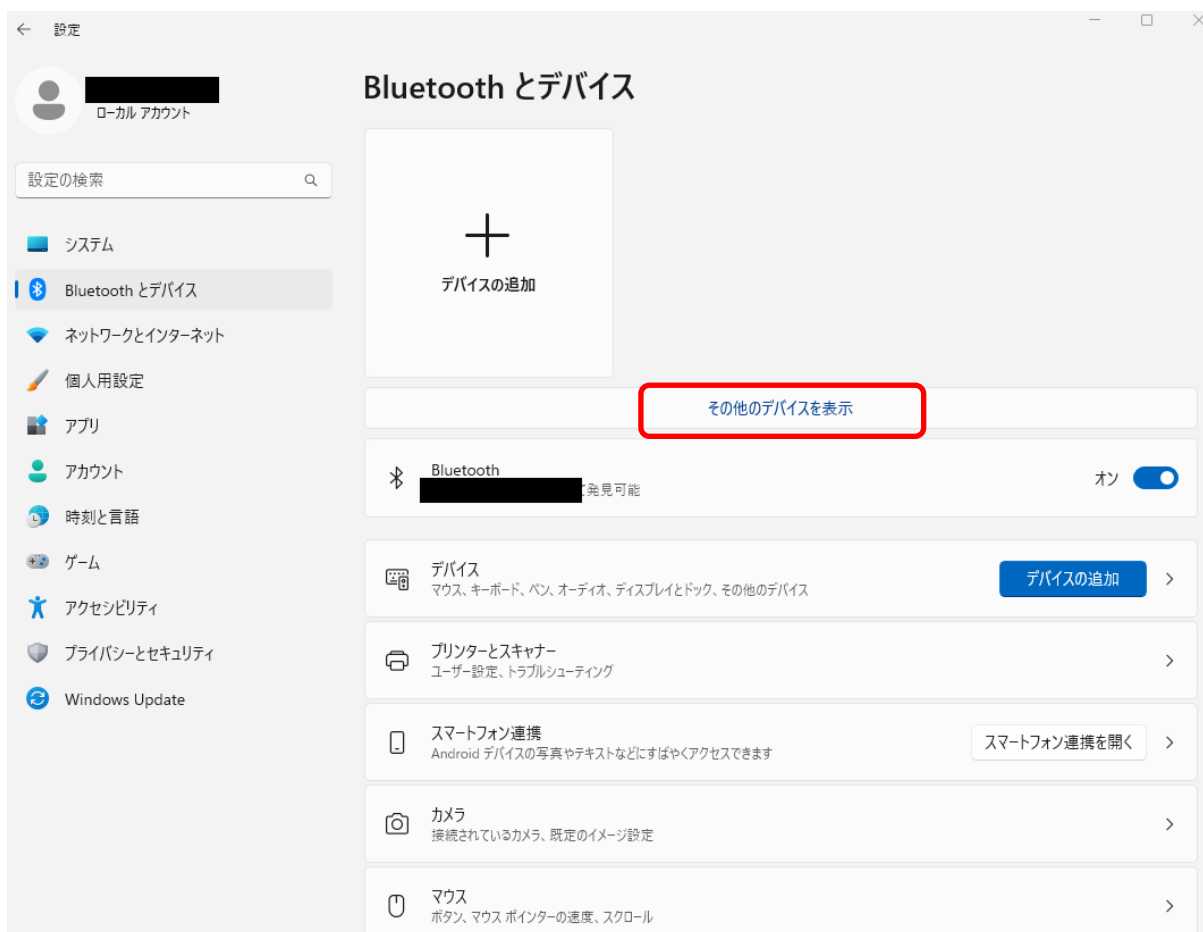


⑤ PC と TP-BT がペアリングされていることを確認します。



■ PC と TP-BT のペアリング (Windows 11 の場合)

① 「設定」⇒「Bluetoothとデバイス」から「その他のデバイスを表示」をクリックします。



- ② 「Bluetooth とデバイス」⇒「デバイス」から「新しいデバイスを“Windows アカウント名”に接続する」⇒「デバイスの追加」ボタンをクリックします。

Bluetooth とデバイス > デバイス

Bluetooth 発見可能 オン

新しいデバイスを " " に接続する デバイスの追加

入力

USB Optical Mouse ...

オーディオ

Generic Monitor (VS24A) ...

デバイスの設定

クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する
ペアリング モードで近づけて、サポートされている Bluetooth デバイスにすばやく接続する オフ

従量制課金接続でのダウンロード
従量制課金接続を使っているときには、新しいデバイスのソフトウェア向けのデバイス ソフトウェア (ドライバー、情報、アプリ) をダウンロードします。これにより追加料金がかかる場合があります オフ

Bluetooth デバイスの検出
Bluetooth デバイスを追加する場合、[既定] では一般的なアクセサリを接続できます。[詳細] を選択すると、すべての種類のデバイスが表示されます 詳細

※本作業時は、「クイックペアリングを使用して接続するための通知を表示する」のトグルスイッチを「オフ」に、「Bluetooth デバイスの検出」を「詳細」に選択してください。

③ 「デバイスを追加する」から「Bluetooth」を選択します。

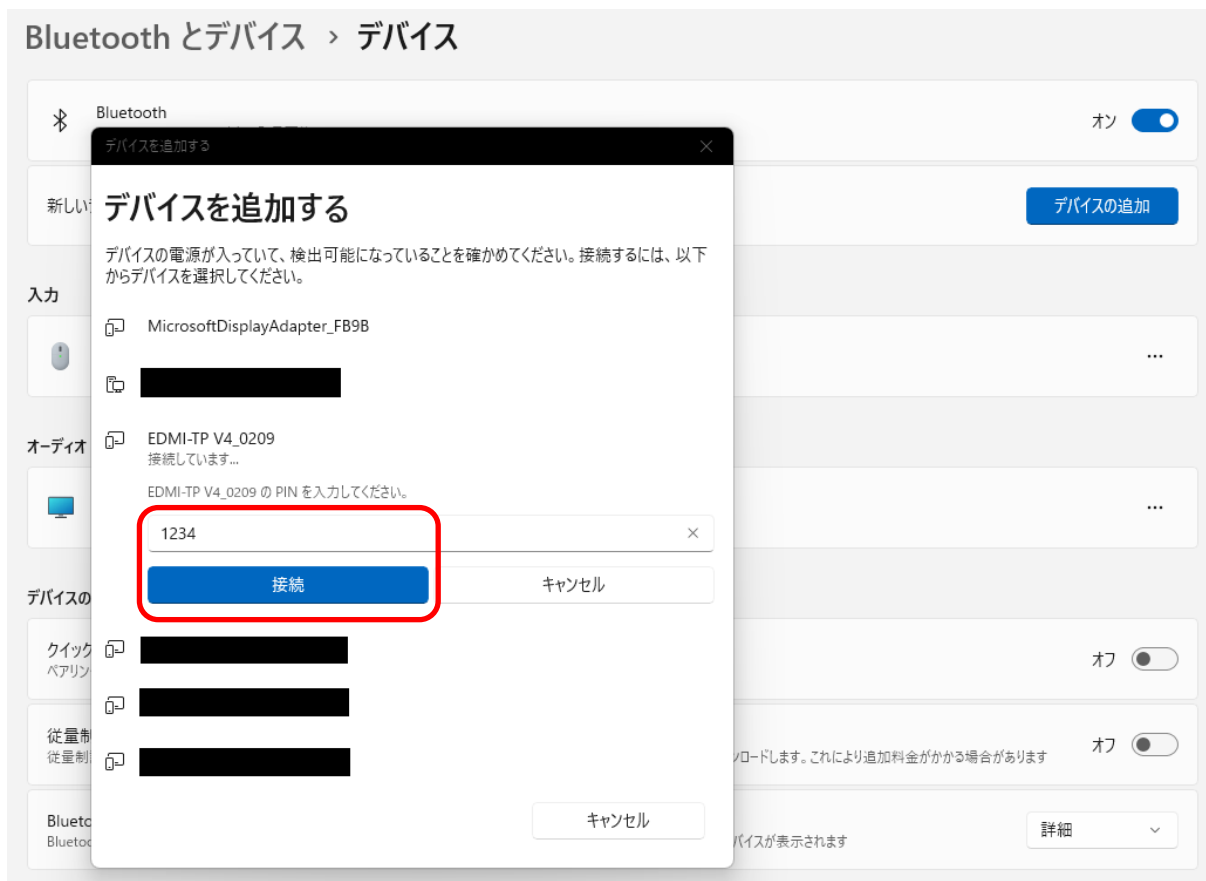


④対象の TP-BT を選択します。(BLE が付かない方の名称を選択)

デバイス名：“EDMI VX_YYYYY” (“X”，“YYYYY” は任意の数字)



⑤PIN「1234」を入力して「接続」をクリックします。



⑥PC と TP-BT がペアリングされていることを確認します。

Bluetooth とデバイス > デバイス

Bluetooth 発見可能 オン

新しいデバイスを 接続する デバイスの追加

入力

USB Optical Mouse ...

オーディオ

Generic Monitor (VS24A) ...

その他のデバイス

EDMI-TP V4_0209
ペアリング済み ...

デバイスの設定

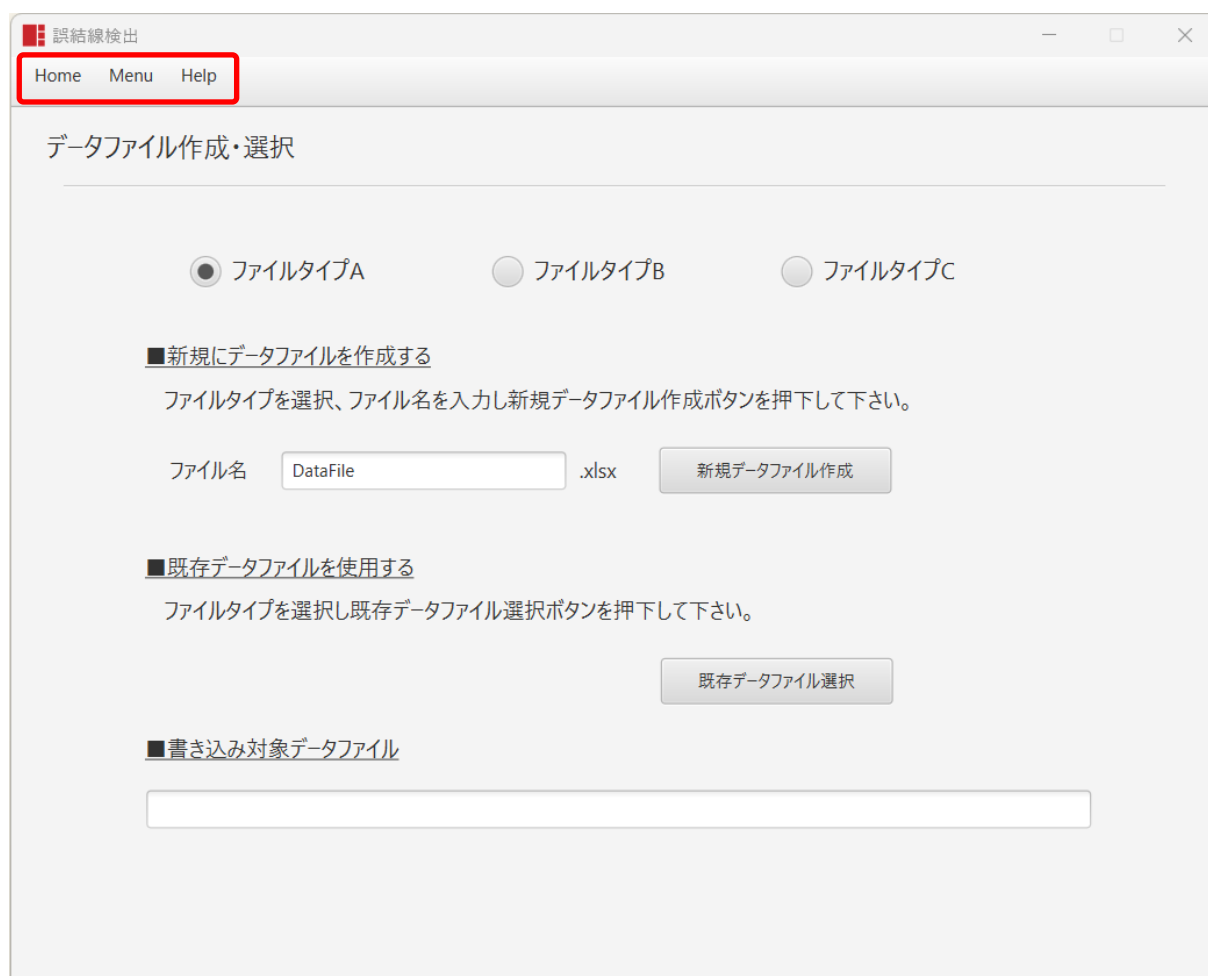
クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する
ペアリング モードで近づけて、サポートされている Bluetooth デバイスにすばやく接続する オフ

従量制課金接続でのダウンロード
従量制課金接続を使っているときには、新しいデバイスのソフトウェア向けのデバイス ソフトウェア (ドライバー、情報、アプリ) をダウンロードします。これにより追加料金がかかる場合があります オフ

Bluetooth デバイスの検出
Bluetooth デバイスを追加する場合、[既定] では一般的なアクセサリを接続できます。[詳細] を選択すると、すべての種類のデバイスが表示されます 詳細

画面説明

本アプリの画面について説明します。



本画面のメニューバーの機能について以下に示します。

- ・「Home」:
⇒「終了」: 本アプリを終了します。(右上の「×」ボタンでも終了できます。)
- ・「Menu」:
⇒各機能の画面へ遷移します。
(データファイル作成・選択 / 計器情報取得 / 誤結線確認 / 計量値確認)
- ・「Help」:
⇒「version 確認」: 本アプリの version を確認します。

以降の項目では、各画面の機能についての説明を記載します。

1. データファイル作成・選択画面

本画面では、転記するエクセルファイルの新規作成、もしくは既存ファイルの指定を行います。

誤結線検出

Home Menu Help

データファイル作成・選択

① ファイルタイプA ファイルタイプB ファイルタイプC

■新規にデータファイルを作成する
ファイルタイプを選択、ファイル名を入力し新規データファイル作成ボタンを押下して下さい。

② ファイル名 .xlsx

■既存データファイルを使用する
ファイルタイプを選択し既存データファイル選択ボタンを押下して下さい。

③

■書き込み対象データファイル

④

- ① 「ファイルタイプ選択」:
出力するエクセルファイルのフォーマットを指定します。
- ② 「新規にデータファイルを作成する」:
新規に作成するファイル名をテキストBOXに記入し、「新規データファイル作成」ボタンをクリックすると、フォルダ選択ウィンドウが開きます。作成場所を指定すると、対象のフォルダに新規ファイルを作成します。
- ③ 「既存データファイルを使用する」:
「既存データファイル選択」ボタンをクリックすると、②で作成した既存のファイルを対象として選択します。(①で指定したフォーマットではないファイルは選択できません。)
- ④ 「書き込み対象データファイル」:
②もしくは③で指定した対象のファイルパスが表示されます。

2. 計器情報取得画面

本画面では、計器と通信を行い、設定値/現在値の情報を取得します。また取得した情報は指定したエクセルファイルに転記することが可能です。

I. 初期状態

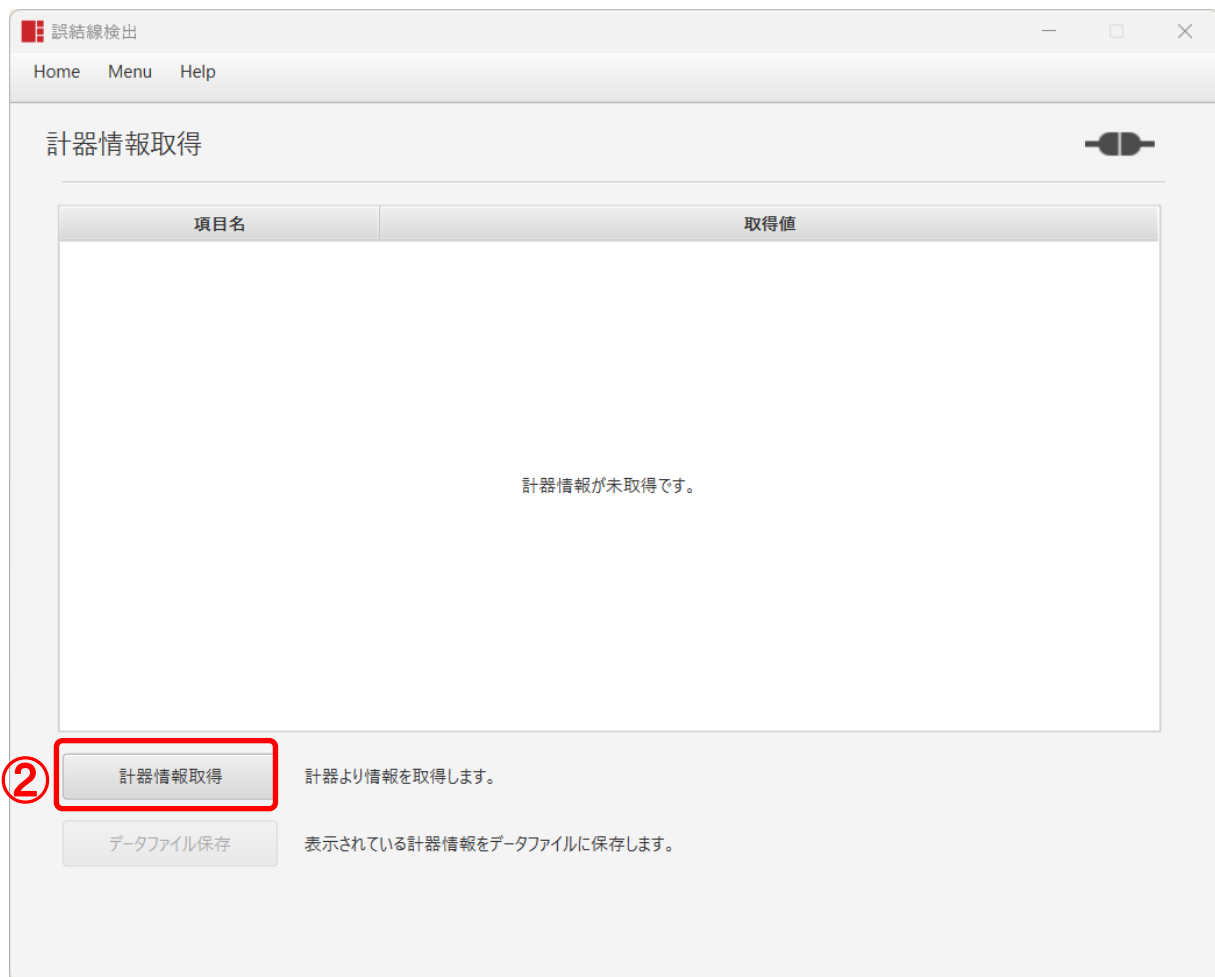


① 「TP-BT 接続状態」:

アイコンをクリックすると、PC とペアリングした TP-BT との接続を行います。接続後は画面表示Ⅱ（TP-BT 接続後）に移行します。

※既に他画面にて TP-BT と接続していた場合、画面表示Ⅱが表示されます。

II. TP-BT 接続後



② 「計器情報取得」:

計器との通信を行い、設定値/現在値の読み出しを行います。

読み出した情報は画面上に表示されます。(画面表示Ⅲ「計器情報取得後」)

※既に他画面にて計器情報を取得していた場合、画面表示Ⅲが表示されます。

III. 計器情報取得後

(1) ファイルタイプ A 選択時

項目名	取得値
計器ID	A233919570
製造No	391957
製造年	2023
形名	AP3GA-TLN11
相線式	3φ3W
定格電圧	440/110V
定格電流	30/5A
乗率	1
変成比定数	24
表示桁数	7
(RS-485)端末アドレス	001
(RS-485)速度	19200bps
(RS-485)パリティ	偶数パリティ・ストップビット1
ケーブル	あり

計器情報取得 計器より情報を取得します。

③ データファイル保存 表示されている計器情報をデータファイルに保存します。

③ 「データファイル保存」:

計器から取得した情報を、指定したデータファイルに転記します。

「データファイル作成・選択」画面にて、転記するエクセルファイルを指定した場合に本ボタンが有効となります。

(2) ファイルタイプB 選択時

項目名	取得値
計器ID	A233919570
製造No	391957
製造年	2023
形名	AP3GA-TLN11
相線式	3φ3W
定格電圧	440/110V
定格電流	30/5A
乗率	1
変成比定数	24
表示桁数	7
(RS-485)端末アドレス	001
(RS-485)速度	19200bps
(RS-485)パリティ	偶数パリティ・ストップビット1
ケーブル	セリ

③ データファイル保存 表示されている計器情報をデータファイルに保存します。

計量対象名

④ (ファイルタイプB選択時：データファイルの同名項目に転記されます)

③ 「データファイル保存」:

計器から取得した情報を、指定したデータファイルに転記します。

④ 「計量対象名」:

本テキストボックスに記入した内容を、データファイル内の該当の項目に転記することができます。(記入可能な文字数は100文字以下となります。)

(3) ファイルタイプC 選択時

項目名	取得値
計器ID	A233919570
製造No	391957
製造年	2023
形名	AP3GA-TLN11
相線式	3φ3W
定格電圧	440/110V
定格電流	30/5A
乗率	1
変成比定数	24
表示桁数	7
(RS-485)端末アドレス	001
(RS-485)速度	19200bps
(RS-485)パリティ	偶数パリティ・ストップビット1
名称	未入力

計器情報取得 計器より情報を取得します。

③ データファイル保存 表示されている計器情報をデータファイルに保存します。

⑨ 同一計器IDの連続転記確認 ON
同一管理Noの連続転記確認 ON

④ 階 指定なし
⑤ 設置場所 指定なし
⑥ 盤名称 指定してください
⑦ 管理No. 指定してください
⑧ 計量対象名

③ 「データファイル保存」:

計器から取得した情報を、指定したデータファイルに転記します。

- ・「盤名称」「管理 No.」コンボボックス (⑥, ⑦) を選択済の場合、データファイル内の選択対象と一致する“管理 No”が記入されている行に転記します。
- ・「盤名称」「管理 No.」コンボボックス (⑥, ⑦) が未選択の場合、データファイル内の、保存対象計器の“製造 No”と一致する行に転記します。ファイル内に対象の“製造 No”が存在しない場合は、空白行に転記を行います。

④ 「階」:

選択したファイル内の対象列に記入されている項目をリスト表示します。選択した場合、対象の“階”にマッチする“設置場所”、“盤名称”と“管理 No.”を該当のコンボボックス (⑤, ⑥, ⑦) にリスト表示します。

⑤ 「設置場所」:

選択したファイル内の対象列に記入されている項目をリスト表示します。選択した場合、対象の“設置場所”にマッチする“階”、“盤名称”と“管理 No.”を該当のコンボボックス (④, ⑥, ⑦) にリスト表示します。

⑥「盤名称」:

選択したファイル内の対象列に記入されている項目を表示します。選択した場合、対象の“盤名称”にマッチする“管理 No.”を該当のコンボボックス (⑦) に表示します。

⑦「管理 No.」:

選択したファイル内の対象列に記入されている項目を表示します。選択した場合、対象の“管理 No.”にマッチする“計量対象名”を該当のテキストボックス (⑧) に表示します。

⑧「計量対象名」:

- ・「盤名称」「管理 No.」コンボボックス (⑥, ⑦) を選択済の場合、指定した” 管理 No.”に対応する” 計量対象名”をテキストボックスに表示します。
- ・「盤名称」「管理 No.」コンボボックス (⑥, ⑦) が未選択の場合、本テキストボックスに記入した内容を、データファイル内の該当の項目に転記することができます。(記入可能な文字数は 100 文字以下となります。)

⑨「同一計器 ID の連続転記確認」 / 「同一管理 No の連続転記確認」:

同一の“計器 ID” / “管理 No”を連続でファイル保存する際に確認ダイアログを表示します。チェックボックスの“ON” / “OFF”で本機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

3. 誤結線確認画面

本画面では、設置した計器が正しく配線されているかを、配線チェック機と組み合わせて使用することにより確認します。確認結果が異常の場合は、どのように誤配線したかのパターンを表示します。結果が正常の場合は、続けて計量値の確認も行うことが可能です。

I. 初期状態

① 「TP-BT 接続状態」:

アイコンをクリックすると、PC とペアリングした TP-BT との接続を行います。接続後は画面表示Ⅱ（TP-BT 接続後）に移行します。

※既に他画面にて TP-BT と接続していた場合、画面表示Ⅱが表示されます。

II. TP-BT 接続後

② 「計器情報取得」:

計器との通信を行い、設定値/現在値の読み出しを行います。

読み出した情報は画面上に表示されます。(画面表示Ⅲ「計器情報取得後」)

※既に他画面にて計器情報を取得していた場合、画面表示Ⅲが表示されます。

III. 計器情報取得後

③ 「接続機器」:

計器に接続している模擬負荷をリストから選択します。

また、接続する機器の台数（範囲：1～100）をテキストボックスに記入します。

④ 「判定準備」:

判定に用いる理論値をセットします。本ボタンをクリック後、誤結線判定が可能になります（画面表示IV「判定準備完了後」）

「正常判定時に続けて計量を実施」:

チェックを入れた場合、誤配線確認結果が正常の時、続けて計量値確認試験を行います。また、計量値確認試験において、1回目の計量値取得と2回目の計量値取得の間に設ける待ち時間（1秒単位もしくは1分単位）をテキストボックスに指定できます。

IV. 判定準備完了後

誤結線確認

計器情報

相線式	製造No	欠相	電圧異常	逆相順	逆潮流	電圧(相1)	電圧(相3)
三相3線式	020001	なし	なし	なし	なし	204.4	205.2

接続機器

配線チェック機 × 1 台

判定準備 正常判定時に続けて計量を実施 30 秒

判定・計量開始

判定結果

判定	W1	var1	W3	var3	θp1-p3
理論値	300.0	57.7	166.7	-57.7	300.0
測定値					
判定値					

計量結果

開始時刻	開始時計量値[kWh]
終了時刻	終了時計量値[kWh]
経過時間 [秒]	差分[kWh]

判定結果だけではなく再度配線を確認した為、データファイルに保存する

データファイル保存 表示されている判定結果・計量結果をデータファイルに保存します。

⑤ 「判定・計量開始」:

誤結線判定を行います。判定結果が正常の場合は、下記 IV. - I (判定結果: 正常) のような表示となり、「正常判定時に続けて計量を実施」にチェックを入れていた場合、続けて計量値確認を行います。判定結果が異常の場合は、下記 IV. - II (判定結果: 異常) のような表示となります。

⑥ 「計器情報更新」:

アイコンをクリックすると、通信により計器の設定値/現在値を再取得します。取得した情報で計器情報の表示を更新します。

IV. - I 判定結果：正常

誤結線検出
Home Menu Help

誤結線確認

計器情報	相線式	製造No	欠相	電圧異常	逆相順	逆潮流	電圧(相1)	電圧(相3)
	三相3線式	020001	なし	なし	なし	なし	203.6	204.6

接続機器 配線チェック機 × 1 台

判定準備

正常判定時に続けて計量を実施
 30
秒

判定・計量開始

判定		W1	var1	W3	var3	θp1-p3
○ 正常	理論値	300.0	57.7	166.7	-57.7	300.0
	測定値	318.1	58.8	178.2	-65.1	300.0
	判定値	305.5	56.5	171.1	-62.5	300.0

詳細表示

計量結果	開始時刻	開始時計量値[kWh]	0.12
	2022/09/20 15:55:23		
	終了時刻	2022/09/20 15:55:55	終了時計量値[kWh]
			0.13
	経過時間 [秒]	32	差分[kWh]
			0.01

⑦ 判定結果だけでなく再度配線を確認したため、データファイルに保存する

⑧ データファイル保存 表示されている判定結果・計量結果をデータファイルに保存します。

⑦「判定結果だけでなく再度配線を確認したため、データファイルに保存する」：
 チェックを入れた場合、⑧の「データファイル保存」ボタンが有効になります。
 判定結果と実際の配線が正しいことを確認した上で、本項目にチェックを入れて下さい。

⑧「データファイル保存」：
 本ボタンをクリックすると、誤結線判定結果および計量値確認結果を指定したデータファイルに転記します。

IV. ー II 判定結果：異常

誤結線検出
Home Menu Help

誤結線確認

計器情報	相線式	製造No	欠相	電圧異常	逆相順	逆潮流	電圧(相1)	電圧(相3)
	三相3線式	020001	なし	なし	あり	あり	204.1	205.5

接続機器
配線チェック機
×
1
台

判定準備

正常判定時に続けて計量を実施
30
秒
判定・計量開始

判定		W1	var1	W3	var3	θp1-p3
判定 × 異常	理論値	300.0	57.7	166.7	-57.7	300.0
	測定値	-318.0	-54.8	148.7	123.4	60.0
	判定値	-305.5	-52.6	139.9	116.1	60.0

開始時刻
終了時刻
経過時間 [秒]

開始時計量値[kWh]
終了時計量値[kWh]
差分[kWh]

判定結果だけではなく再度配線を確認した為、データファイルに保存する

データファイル保存

表示されている判定結果・計量結果をデータファイルに保存します。

⑨ 「詳細表示」:

本ボタンをクリックすると、誤配線パターンを別ウィンドウに表示します。
 表示されるウィンドウの画面例を以下に示します。
 赤字で強調される線が、誤った結線を行っていると推定される箇所です。

異常
×

回路異常(101)

次
OK

異常
×

回路異常(104)

前
OK

32

4. 計量値確認画面

本画面では、計器の計量値の推移を自動的に確認します。

I. 初期状態

誤結線検出

Home Menu Help

計量値確認

計器情報 取得 計器より情報を取得します。

指定時間後に再度計量を実施します 10 秒

計量開始 計量終了

計量結果	開始時刻	終了時刻	経過時間 [秒]	開始時計量値[kWh]	終了時計量値[kWh]	差分[kWh]

データファイル保存 表示されている計量結果をデータファイルに保存します。

クリア 計量結果をクリアします。

① 「TP-BT 接続状態」:

アイコンをクリックすると、PC とペアリングした TP-BT との接続を行います。接続後は画面表示Ⅱ（TP-BT 接続後）に移行します。

※既に他画面にて TP-BT と接続していた場合、画面表示Ⅱが表示されます。

II. TP-BT 接続後

誤結線検出

Home Menu Help

計量値確認

計器情報 ② 取得 計器より情報を取得します。

指定時間後に再度計量を実施します 10 秒

計量開始 計量終了

計量結果

開始時刻	終了時刻	経過時間 [秒]	開始時計量値[kWh]	終了時計量値[kWh]	差分[kWh]
------	------	----------	-------------	-------------	---------

データファイル保存 表示されている計量結果をデータファイルに保存します。

クリア 計量結果をクリアします。

② 「計器情報取得」:

計器との通信を行い、設定値/現在値の読み出しを行います。

読み出した情報は画面上に表示されます。(画面表示Ⅲ「計器情報取得後」)

※既に他画面にて計器情報を取得していた場合、画面表示Ⅲが表示されます。

III. 計器情報取得後

誤結線検出

Home Menu Help

計量値確認

計器情報

相線式	製造No	欠相	電圧異常	逆相順	逆潮流
三相3線式	020001	なし	なし	なし	なし

③ 指定時間後に再度計量を実施します 30 秒

④ 計量開始 計量終了

計量結果

開始時刻	開始時計量値[kWh]
終了時刻	終了時計量値[kWh]
経過時間 [秒]	差分[kWh]

データファイル保存 表示されている計量結果をデータファイルに保存します。

クリア 計量結果をクリアします。

③ 「指定時間後に再度計量を実施します」:

チェックを入れた場合、1回目の計量値確認に続けて右側のテキストBOXに入力した待ち時間（1秒単位もしくは1分単位）が経過した後に、2回目の計量値確認を自動で行います。2回目の計量値確認が完了した後に差分の計量値を表示します。

（※ただし、表示される経過時間は、計器との通信を行う関係上、指定した待ち時間以上の値となります。）

④ 「計量開始」:

クリックすると計量値確認を開始します。③のチェックを入れていない場合、「計量終了」ボタンが有効となり、「計量終了」ボタンをクリックすることで2回目の計量値確認を行います。2回目の計量値確認完了後、差分の計量値を表示します。（画面表示IV「計量値確認完了後」）

IV. 計量値確認完了後

誤結線検出

Home Menu Help

計量値確認

計器情報

相線式	製造No	欠相	電圧異常	逆相順	逆潮流
三相3線式	020001	なし	なし	なし	なし

指定時間後に再度計量を実施します 30 分

計量開始 計量終了

計量結果

開始時刻	2022/09/20 16:07:02	開始時計量値[kWh]	0.15
終了時刻	2022/09/20 16:37:05	終了時計量値[kWh]	0.40
経過時間 [秒]	1803	差分[kWh]	0.25

⑤ データファイル保存 表示されている計量結果をデータファイルに保存します。

⑥ クリア 計量結果をクリアします。

⑦

⑤ 「データファイル保存」:

確認した計量結果を指定したファイルに転記します。

1台の計器につき3回分の結果まで、ファイルに保存できます。

⑥ 「クリア」:

表示されている計量結果を消去します。表示を消去することで、再び「計量開始」ボタンが有効になります。

⑦ 「計器情報更新」:

アイコンをクリックすると、通信により計器の設定値/現在値を再取得します。取得した情報で計器情報の表示を更新します。



お願い

- 製品をご使用の際には、必ず本取扱説明書をお読みください。
- 記載内容は、設計変更その他の理由により、ご連絡申しあげることなく変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。

商標について

※コンパクトEM、E-FMは、大崎電気工業株式会社の登録商標です。
※Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、大崎電気工業株式会社はライセンスに基づき使用しています。
※Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
※その他本書に記載されている製品名、サービス名などは、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。本文中では®、TMマークを明記していません。

◎製品に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

大崎電気工業株式会社

営業本部 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア

共創デザイン推進室 エネルギーツリビューション部

〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア

営業推進課 電話(03)3443-7177 FAX(03)3443-0265

営業開発課 電話(03)3443-7261 FAX(03)3443-7262

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目6-1 札幌大通西4ビル 5F

電話(011)251-6622 FAX(011)210-0258

仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オーク仙台ビル

電話(022)223-3747 FAX(022)223-8159

名古屋営業所 〒461-0004 名古屋市東区葵3-23-10 千種ファーストビルかとう3F

電話(052)933-2229 FAX(052)933-0650

大阪営業所 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-9 三栄ビル

電話(06)6373-2556 FAX(06)6375-0681

広島営業所 〒730-0037 広島市中区中町9-12 中町三井ビル6F

電話(082)243-1611 FAX(082)243-9039

沖縄営業所 〒902-0077 那覇市長田1-22-18

電話(098)832-7406 FAX(098)836-8655

<https://www.osaki.co.jp/>